

雲北陵月報

No. 472

令和6年12月20日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

変化の時代を生きる皆さんへ

進学指導部長 中澤 悟



2024年も残りあとわずかとなりました。出雲北陵高校では今年度も例年通り3年生全体の7割以上の生徒が進学を希望し、多くの生徒が志望校合格を決めています。進路が決まった皆さんは、高校生としてあるべき姿を忘れず、最後まで高校生活を充実したものにしたいと思えます。年明けには卒業試験もありますので、冬休み中もしっかりと学習に励むと共に、進学先からの課題や進学後の学びに備えて基礎学力の充実を図ってください。一方、大学入学共通テストや一般入学試験を控えている皆さんにとっては追い込みの時期です。入試に向けて体調には十分留意し、万全の状態です。最後までに全力で挑戦して欲しいと思います。

皆さんが暮らす社会は大きな変化の中にあります。技術の進歩や価値観の多様化、環境問題、そして国際情勢など、かつてないスピードで物事が変わっています。この変化の時代において皆さんにとっては多くの選択肢が広がり、同時に皆さんは新たな課題に直面することになります。その中で、未来を生きる皆さんに意識して欲しいことを伝えます。

1. 変化を楽しむ力を持つ
今、AIやデジタル技術の進化が私たちの生活や働き方を大きく変えています。同じ職業やスキルが一生続く保証はなく、「変わり続けること」が成功の鍵となる時代です。恐れるのではなく、変化を受け入れ新しい学びを楽しむ、変化を受け入れ新しい学びを楽しむ、活用して新しいスキルを身につけるために、「自分がどう価値を生み出せるか」を考えたりと変化を受け入れ柔軟に対応し、学びを深めてください。進学する人も就職する人も「学び続ける姿勢」を忘れないで欲しいと思います。
2. 環境や社会課題に目を向けよう
気候変動や資源の枯渇、地域格差といったグローバルな課題が深刻さを増しています。こうした問題は、皆さんが将来生きていく社会に直接影響を与えます。環境に優しい選択を日々の生活や仕事で意識することも大切になってきます。皆さんがどんな進路を選んだとしても、自分が課題にどう貢献できるかを考えてみてください。これからは必ず「環境を意識した働き方」や「地域社会への貢献」が求められる場面が増えていくと思います。
3. 人とのつながりを大切に
コロナ禍を経て、人と人とのつながりの重要性が再認識されました。オンラインでの交流が増えた一方で、直接

会って話すことの価値も再確認されています。社会がどれだけデジタル化しても、信頼や思いやりが最終的には成功や幸せの基盤になります。

どんな環境でも人を敬い、挨拶や礼儀を大切にし、多様な価値観を尊重し、皆と協働できる力を身に付けて欲しいと思います。

これからの時代を生き抜くヒント

- 挑戦を恐れず、一歩を踏み出す勇気を持つこと。
- どんな時代でも、新しいことに挑戦する人が次の未来を創ります。
- 自分の「軸」を持つこと。
- 変化が激しい時代でも、自分が何を大切にし、何を成し遂げたいかをはっきりさせてください。
- 失敗を恐れないこと。
- 失敗から学び、次に生かす力が皆さんの成長を後押しします。

皆さんの未来は、明るく、可能性に満ちています。ただ、それを実現するのは皆さん自身の行動と努力です。社会がどんなに変化しても、自分の力で道を切り開くことができます。北陵生としての自信と誇りを持って、自分の選んだ道を歩んでください。

創立115周年記念事業 第19回出雲北陵杯卓球大会

11月30日・12月1日
於 出雲市総合体育館

出雲市及び近隣の小中学校卓球部員相互の親善と交歓、技能向上とチームの強化を図る目的で、第19回出雲北陵杯卓球大会が、出雲市総合体育館で開催された。今大会には男子90名、女子54名が参加し、2日間にわたって熱戦が繰り広げられた。今大会の団体戦は個人戦(シングルス)の合計ポイントで争われ、男子は出雲北陵中学校、女子はさくら組ジュニア(山口)

が栄光を手にした。各試合の結果は次の通り。

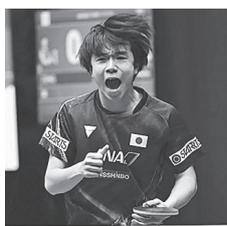
- 〈男子団体〉
- 優勝 出雲北陵中学校
 - 2位 MTC鳥取
 - 3位 松江ジュニアクラブ
- 〈女子団体〉
- 優勝 さくら組ジュニア(山口)
 - 2位 松江市立湖南中学校
 - 3位 松江市立斐川東中学校
- 〈男子シングルス〉
- 優勝 前田文汰(MTC鳥取)
 - 2位 住田光亮(出雲北陵)
 - 3位 中司良心(出雲北陵)
- 〈女子シングルス〉
- 優勝 竹本悠奈(MTC鳥取)
 - 2位 吉井美寿紀(さくら組ジュニア)
 - 3位 岸本真采(さくら組ジュニア)

卓球部

2024年世界ユース卓球選手権大会

11月22日~29日
於 スウェーデン・ヘルシンボリ

- 〈男子団体〉 3位
- 1回戦 日本3-0イラン
 - 準々決勝 日本3-0中華台北
 - 準決勝 日本2-3ポーランド



○大会総評
小野泰和(35北陵)が19歳以下の日本代表として世界ユース選手権に参加した。日本チームは準決勝でポーランド

に敗れたが、小野自身は出場したすべての試合に勝つことができ、大会を通して自信を深めることができた。今回の貴重な経験を生かし、将来的にはオリンピックや世界選手権でメダルを獲得できるように選手に成長することを願っている。(顧問 古瀬泰之)

美術部

6年連続18回目となる

全国高校総合文化祭出品決定!

第57回島根県高校美術展

時 12月13〜16日

於 島根県立美術館

全県から294点の応募があり、本校からは22点が入選した。そのうち森崎菜々恵(24世)の絵画作品「あの日の私は」が来年度の全国高校総合文化祭推薦作品枠7点の一つに選出された。

(顧問 石倉 正)



「あの日の私は」 森崎菜々恵

写真部

「3年の部」4席・奨励賞1点、

「1・2年の部」奨励賞5点受賞

第52回島根県高校写真展審査会

時 12月12日

於 松江工業高校

今年度は本校から24点の特選作品を島根県高校写真展審査会に出品した。

「3年の部」では山岡菜々(33期)の

作品「堕ちる」が4席に入り、有終の美を飾った。彼女の写真に対する誠実さ、ひたむきさは3年間を通して本当に素晴らしかった。顧問として誇りに思う。

「1・2年の部」では、残念ながら全国高校総合文化祭5年連続出品は果たせなかった。最善を尽くして準備しただけに、本当に悔しい結果となったがこの結果を真摯に受け止め、部員達と共にまた一から再起を図りたい。審査会の結果は次の通り。

「3年の部」

〈4席〉

「堕ちる」

山岡菜々

〈奨励賞〉

「傍観者」

朝枝佳乃(36歳)

「1・2年の部」

〈奨励賞〉

「変わらないもの」 福島 和(23世)

「明日へ」 馬庭葵琳(24歳)

「記憶の続き」 渡部麻華(25歳)

「探求者」 西出みき(23歳)

「視線」 馬庭葵琳

(顧問 村上 学)

女子ソフトテニス部

島根県高校ソフトテニス選手権大会

時 12月14日

於 鹿島総合体育館

優勝 杉谷 皐(24大)・高野愛未(24大)

3位 落合 遥(14大)・栗原奈々(25大)

3位 曾田珠凜(13大)・森田早貴(14大)

○大会総評

1月の中国選抜に向けて更に精進していきたい。応援有難うございました。

(顧問 金森 快)



優勝した杉谷・高野組

男子ソフトテニス部

島根県高等学校ソフトテニス選手権大会

時 12月14日

於 鹿島総合体育館

2位 川角光夢(22歳)・山下柊人(15歳)

○大会総評

新人戦の上位32ペアが出場する大会に本校からは6ペアが参加予定であったが、感染症の影響により、1ペアだけの出場となった。事前の練習もあまりできない中であつたが、川角、山下ペアが決勝まで進出し準優勝となった。年明けの中国地区選抜大会に向けて、しっかりと準備していきたい。

(顧問 佐々木雄志)



男子バスケットボール部

出雲地区高等学校新人バスケットボール大会

時 12月14・15日

於 出雲高校

予選トーナメント

本校 120-61 平田

本校 94-45 出雲商業

決勝

本校 113-61 大社

優勝(県新人戦ベスト4シード獲得)

○大会総評

全試合に全員が出場し、快勝した。来月の県新人戦に向け守備とリバウンド、ルーズボールを強化し、魂のこもったバスケットボールが体現できるよう、これからもひたむきな心を大切にしながらチーム一丸となって精進していきたい。

最後になりましたが、当日は校長先生をはじめ、保護者、多くの方から声援いただき、有難うございました。

(顧問 手島幹人)

女子バスケットボール部

出雲地区高等学校新人バスケットボール大会

時 12月14・15日

於 出雲高校

予選トーナメント

本校 104-42 出雲

本校 44-99 出雲商業

ベスト8シード順位決定戦

本校 65-71 大社

○大会総評

出雲商業戦、大社戦いずれにおいても力が足りず、敗戦となってしまった。この悔しさを忘れず練習に励み、県新人戦に臨みたい。当日は保護者の皆様から応援いただき、有難うございました。

(顧問 篠原勝利)

陸上競技部

第33回浜田ー益田間駅伝大会

時 12月8日
於 浜田・益田

平田チーム(39.5km・8区間)
2時間9分25秒 8位
7区(6.5km)
河原栄大(36種) 20分28秒・区間8位
○大会総評

今年は各地域陸協が中学生から一般までの男女混成チームを組み、34チームが参加した。

本校からは、平田チームの一員として河原が参加した。ゆうひパーク三隅からスタートした河原は、上り下りのある難コースを区間8位と快走。チームの8位入賞に大きく貢献した。

(顧問 別所美喜子)

ダンス同好会

第49回島根県高校連ダンス発表会

時 12月11日

於 島根県民会館



本発表会にダンス同好会から部員6名が参加した。今回はチャダンスの創作に初めて挑戦し、部員が決められたテーマ『想いを伝えるJK』をもとにから振りを作った。簡単では

なかったが部員一同懸命に考え、その結果、素晴らしいものができた。

本番では、直前まで振りや掛け声を確認して、北陵らしい活気のあるダンスを披露できた。また他校のダンス団体から沢山の学びを得ることもできた。ここで得た学びを、今後の活動に還元できるように部員一同精進していきたい。

(顧問 水谷円香)

学校開放美術講座

時 11月23日
於 本校美術棟

美術の基礎である素描を中心に学ぶ学校開放美術講座を開催した。本年は中学生を対象とした講座を行い、参加者は熱心に約2時間の作品制作に取り組んだ。形態の捉え方や陰影のつけ方などを学び、上達が伺え実りある講習となった。

次年度も開催を予定しているので、多くの方に受講していただきたい。



美術・CGデザインコース

課題制作発表会

時 12月3日
於 本校美術棟

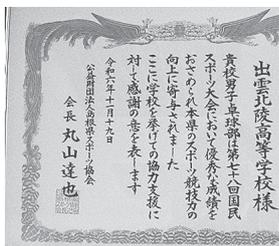
美術・CGデザインコース3年生による課題制作発表会が開催された。4月から8か月間かけて制作してきたそれぞれの卒業制作を、先生方や後輩の前で発表した。長い時間をかけて試行錯誤を重ねた作品を見てもらうと共に、それぞれの作品に込めた想いや工夫を伝えられたことで、自信と新たな目標を得た様子であった。



卓球部

第78回国民スポーツ大会

時 11月19日
於 本校



感謝状贈呈式
第78回国民スポーツ大会
本校卓球部が5位入賞したことが評価され、島根県スポーツ協会から本校に対し

て感謝状が贈呈された。贈呈式には島根県スポーツ協会から近藤一幸事務局長と福岡康二競技スポーツ課課長代理にご来校いただき、本校校長に感謝状が授与された。

第78回国民スポーツ大会 優秀選手・監督・優良団体表彰式

時 11月25日
於 サンラポーむらくも

去る11月25日、サンラポーむらくもにて、第78回国民スポーツ大会優秀選手・監督・優良団体表彰式が行われた。本校からは卓球競技で5位に入賞した古瀬泰之教諭、黒田昌秀(35種)、肖駿駿(23種)が出席し、島根県スポーツ協会の田部長右衛門理事長から表彰状とメダルが授与された。



一斉書写

時 11月29日

学園祭の開催日の移動により延期となっていた「一斉書写」を実施した。それぞれがしっかりと集中して取り組み、緊張感のある空間を全員で作りに上げることができた。この雰囲気大切に、日頃の授業にも繋げて欲しいと思う。

文化講演会

時 11月29日
於 出雲市総合体育館



台風の影響によって延期されていた文化講演会を出雲市総合体育館において実施した。今年度は吉本興業所属のCRAZY COCO様を

お招きし、「中高生に伝えたいこと」をテーマに、夢や人生で大切にしていることなどを中心にご講演いただいた。生徒からの質問コーナーも実施され、たくさんの生徒からの質問に一つ一つ丁寧に答えていただき、生徒達にとってとても有意義な時間になった。「人の行動の9割は無意識であり、限られた人生の中で意識して行動することが大切である」という言葉は我々教職員にとっても考えさせられるものであった。また、自身の経験に基づいた「失敗を恐れずに色々なことに挑戦する大切さ」という言葉も中高生にとって大きなきっかけになるものであったと思う。

この講演会の開催にあたり、何度も日程調整等していただいた関係者の皆様、都合をつけていただいたCRAZY COCO様に改めて感謝申し上げます。有難うございました。



看護体験

時 12月11日
於 島根県立大学(出雲)



今回の体験を通して、生徒達は患者さんが快適に過ごせる環境を整えることの重要性を学んだ。細かな配慮が必要で、責任感やプロ意識を実感し、看護の魅力を感じられた体験となった。
普通コース主任 松井仁志

進学状況 (12月13日現在)

北陸生奮闘中!

今年度高校3年生は志望進路に向けた努力を続け、多くの生徒が志望校への切符を手に入れている。大学入学共通テストや一般試験を受験して志望校合格を目指している生徒は、いよいよ最後の追い込みの時期を迎えている。努力の積み重ねが最後の進路決定につながる。後輩の皆さんも将来像を描き、日々の取り組みを大切にして欲しい。

【国公立大学・短期大学】
神戸市看護大学(看護学部・島根大学2名(教育学部・総合理工学部・島根県立大学2名(看護栄養学部・人間文化学部)・公立鳥取環境大学(経済学部)・周南公立大学(情報科学部)・島根県立大学短期大学部(文化情報学科))
【私立大学】
早稲田大学・中央大学・桜美林大学・神奈川大学・近畿大学・大手前大学・大阪商業大学・京都外国語大学・追手門学院大学・嘉悦大学・帝塚山学院大

学・天理大学・北陸大学・神戸国際大学・大阪学院大学・広島修道大学・広島文教大学・広島工業大学・広島国際大学・広島経済大学・比治山大学・福山大学・福山平成大学・広島女学院大学・広島都市学園・広島文化学園大学・美作大学・環太平洋大学・吉備国際大学・岡山理科大学・川崎医療福祉大学・東亜大学・大阪芸術大学・嵯峨美術大学・武蔵野美術大学 など
【私立短期大学】
関西外国語大学短期大学部・神戸女子短期大学・大阪芸術大学短期大学部・広島文化学園短期大学・山口芸術短期大学 など

就職状況

本校の就職内定率が今年も高いことを誇りに思う。生徒の皆さんは、厳しい就職活動乗り越え、多くの企業から高い評価を受け内定をいただけた。これは、本校が1年生から行うきめ細かいキャリア教育と、生徒の皆さんの努力の賜物と思う。

現在も進学から就職へ進路変更をした生徒さんが頑張っている。就職指導部では、引き続き生徒の皆さんが安心して未来を見据え、内定をいただけるよう、全力でサポートしていきたい。

高校 新生徒会長・副会長決定

11月28日、全校生徒を体育館に集めての立会演説会を実施した。4名の生徒が立候補し、限られた時間の中で、応援者も含め演説を行った。今年度はプロジェクトを用いて公約を示す立候補者もあり、限られた時間ではあったがそれぞれに思いを伝えた。その後

短い期間ではあったが、立候補者はしっかりと選挙活動を行い、12月5日の投票日を迎えた。投票は各クラスの代表員の指導・監督のもと各教室で行われ、会長、副会長が左記の通り決定した。新生徒会には引き続き、活気ある生徒会をつくってくださることを期待している。



生徒会長 落合 稀音(25枚)
副会長 田中 勇望(22枚)
副会長 熊谷 淳(24枚)

中学校 新生徒会三役決定

11月28日に生徒会長立会演説会及び選挙が行われた。立候補者と応援演説者がそれぞれの思いを熱く語り、投票者達もそれを真剣に聞く様子が見られた。選挙の結果、左記の生徒が新生徒会役員として選ばれた。



生徒会長 黒田 志重(中2)
副会長(2年) 白根 洸太(中2)
副会長(1年) 加藤 陽葵(中2)
議長 狩野 汐来(中2)

演奏会のお知らせ

出雲北陵高等学校合唱部ウィンターコンサート
日時：12月21日(土)

場所 ビッグハート出雲白のホール
入場料 無料



出雲北陵高等学校吹奏楽部ウィンターコンサート
日時：12月28日(土)

昼の部 13時20分開場
夜の部 14時開演

場所 出雲市民会館大ホール
入場料 無料



出雲北陵高等学校吹奏楽部第2回定期演奏会
日時：1月5日(日)

場所 出雲市民会館大ホール
入場料 500円(中学生以下無料)

中学校

卓球部

第2回島根県中学校新人卓球大会

日時 12月14日
於 松江市総合体育館

(男子団体) 2位

決勝リーグ
本校 3-0 平田中学校
本校 1-3 益田中学校
本校 3-1 松徳学院中学校

○大会総評
心身共にまだまだ実力不足であった。一つ一つの取り組みを見直し、次の大会に向けて頑張っていきたい。

(顧問 相場翔太)

テニス部

DUNLOPジュニア選手権大会県予選

日時 11月23日
於 浜山公園

(13歳以下男子シングルス)

○大会総評
以前に比べサービス・ストロークにパワーがついてきたが、まだ不安定で敗退した。今後は安定感のあるテニスを心掛け、MUFJ県予選に向かって欲しい。

MUFJジュニアトーナメント県予選

日時 11月30日
於 松江総合運動公園

(15歳以下男子シングルス)

○大会総評
出場した3人のうち、2人は1回戦突破し、2回戦で第1及び第2シードと対戦して敗退した。高校生を含め県トップレベルの選手と対戦した経験を今後の練習に生かして欲しい。

(顧問 石川剛亘)

人権作文コンテスト

第43回全国中学生人権作文コンテスト島根県大会

出雲人権擁護委員協議会長賞受賞

下条莉子(1年)

例年出品しているコンテストであるが、本校では初めて入選し、今後の人権擁護の啓発ともなるうれしい受賞となった。

第2回 校外講師特別講座

日時 11月27日

於 中高棟ホール
山陰中央新報社編集局
報道部 黒崎真依様

「目の前の人、モノ、コトと向き合うこと」大切にしていることと題し、本校中学校を卒業される、現在とは新聞記者として活躍されている黒崎真依様を講師に迎えて第2回校外講師特別講座を実施した。インターネットやSNSで世界が広がる時代だからこそ、もっと「目の前」のことに大切に「向き合うこと」が必要であり、そこから大きな夢につながるという教えは生徒達に多くの気づきを与えた。黒崎様にはご多忙の中、講師をお務めいただいたことに改めて感謝申しあげたい。

【生徒感想(抜粋)】

今日のお話を聞いて私はチャレンジをすることが大切だと思いました。自分の興味があることや、もっと知りたいたい、できるようにになりたいと思える人は、こんなにも輝いて見えるのかと思いました。そして、関心を持てる自分のことや周りのことと向き合うことができる人のすばらしさを学びました。私もいつか自分を振り返ってみたくとき

に、輝いて見えるような選択を自分の意志でできるように、これからは周囲の人や物事、課題などに目を向けようと思いました。
(宮國蒼来(中3北備))

第2回合同道徳

日時 12月9日

於 北陵ホール他
講師 水谷厚志校長
12月9日7限に、水谷厚志校長先生による合同道徳が行われた。

東京デイズニールランドに勤務されるキャストにまつわる話から始まり、文豪「武者小路実篤」氏に教えを受けた坂井さんの「さくら道」等の講話から自身の心の持ち方や相手への関わり方を学んだ。

【生徒の感想】

僕が今回の合同道徳で印象に残った言葉は、「利他の精神」と「人が変われば言葉と態度に現れる」という言葉です。デイズニールランドのキャストの話から、まず「利他の精神」とは相手に対する気遣いや人のために何かをすることだと教わりました。自分自身を振り返ってみると、僕はこれまで人のために動く事はできていても気遣うことができていないと思いました。だから、この言葉を意識する必要があります。と思いました。次に「人が変われば、言葉と態度に現れる」という言葉です。この言葉を聞いたとき「確かにそうだな」と納得しました。小学生の頃の僕はやんちゃで言葉遣いが悪かったです。しかし、中学生になり、一つ一つのことに真剣に向き合うようになって、言葉遣いが良くなったと思います。

今回聞いた「利他の精神」と「人が変われば言葉と態度に現れてくる」という言葉を意識してこれから生活していきたいです。
(松井竜翔(中2蓬))

作品と研究

ちよつと早めの

『合格体験記』

めでたく合格された3年生に進学受験について聞いてみました。1・2年生の皆さんの参考になれば幸いです。

①志望校の選定について

- ・自分の希望する職業から、専門で学べる大学を探してみるとよい。
- ・進学したい地域もあると思う。私は志望校が地元だったので、早めの受験勉強が必要。
- ・資料請求は1年生からできるのでどんな学校か、何が学べるか、自分に合っているかを早めに把握しておくとうい。
- ・学校案内やパンフレット、ホームページだけでは分からないのでオープンキャンパスには積極的に参加するとよい。県外は旅費がたかさん必要になるので、自分の希望と、自分の実力と、資料やホームページでの事前調査をしつかりしておかないと無駄にもなる。
- ・1年生の早い段階から、志望校の候補は考えていた方がよい。受験に向けて意識が持てるし、学校の勉強や自主勉強にも力を入れやすい。

- ・オープンキャンパスに行くと、入

学後の自分の姿が想像できるのでぜひ行って欲しい。自分に合っていないと感じたら、その学校はやめた方がよい。

- ・自分のしたいことができる学校をまずはとにかく探すこと。
- ・オープンキャンパスは3年になって慌てて行くものではない。

②受験勉強の開始時期について

- ・高校に入学してからすぐに始まっている。授業を基本に積み重ね自動的に参考書や問題集を自分で勉強していくことは絶対必要。
- ・2年生の進路希望調査に時期が「受験勉強開始」の最後のチャンスだと思った。3年になってから始めるのは遅すぎる。
- ・部活を理由に受験勉強をしないのはいけない。これだけは毎日やるということを決めて続けることが大事。

- ・志望校の決定がギリギリだったのでも、必要な対策もギリギリになりすべてが遅れてしまっていた。受験校を早く決め、早く始めないといけなかった。
- ・合格しやすいのは、学科試験が課されている入試だと思う。総合型で学科試験が使えたらと思った。そのため、入試で勝負できる実力をつけておかなければと思つた。

③受験勉強の仕方について

- ・受験校が決まったら、とにかく過

去問をすること！自分の実力に合っているかどうか判断できる。

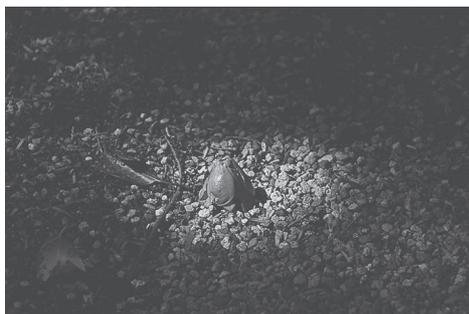
- ・1年生、2年生でも『共通テスト』や『センター試験』の過去問を早めに一度やっておくことも必要だと感じた。

- ・自分の到達度（模擬試験の結果）を踏まえて、必要な勉強を計画を立てるとよい。英語、数学、国語は成績が伸びるのとにかく時間がかかるし、時間をかけなければ伸びない。一番の近道は毎日することのみ！

- ・YouTubeを最大限活用してはどうでしょう。分からないところや曖昧なところがすっきり分かる。自分に合ったYouTubeを見つけることが鍵。

- ・部活が2学期以降もあるのが分かっていたので、帰宅以降の時間を早く済ませ、9時からするように決めていた。
- ・計画を詳しく立てて、毎日勉強しておくこと焦らなくてすむ。

- ・校外の実用英語検定を受けられたら2級以上を目指して挑戦しておくとうい。2級以上あれば入試で有利になる学校が結構あった。
- ・得意な教科も、苦手な教科も、まずは易しいテキストを一冊自力でやってみることを薦めたい。
- ・オススメの参考書や問題集などは先生に聞いてみるとよい。良い問題集を紹介してもらって、確かに実力がついた。
- ・小論文は過去問を入手して、とに



第51回島根県高校写真展審査会「3年の部」4席作品

今月の
1枚

「墮ちる」

山岡 菜々 (33歳)

かく書き上げ、先生に見てもらうのがよい。ある程度書けるようになるまで相当時間がかかる。3ヶ月前ぐらいから始めるとよかつた。小論文は受験校によって、傾向がある程度決まっているので、早めに過去問をやつて、対策を立てておいたので、ほかの受験勉強も十分にできた。

- ・小論文対策は、過去問を先生に指導してもらいながら合格水準まで仕上げることをした。その後は書けるだけ練習した。
- ・小論文は、自分の希望進路にかかわる内容やテーマのニュースや新聞記事、本などをどれだけ読んでいくかで、書ける内容の程度が決まる。ヤフーなどトップページはその日のニュースが出ているので読んでおいた方がよい。